

自然体験宿泊学習！



6月27日(木)～28日(金)、5年生の「宿泊自然教室」を実施しました。朝方は生憎の雨模様でしたが、奇跡的に回復。適度な風もあって熱中症の心配もなし。子供達が楽しみにしていたフィールドビンゴも実施できました。翌日もまた小雨ながら、大自然の中でカレーづくりを楽しむなど、有意義な訓練(学習)をして参りました。私は縁あってキャンドルの集いで火の長に。火の長の言葉を借り、子供等に贈ったメッセージとは。

「さあ、今ここに燃え残る灯火を見るがいい。あれほど燃え盛っていた炎も、今では小さな灯火となった。暗闇に一筋の光を与え、自分の身を細らせ燃やし、光と安らぎを与えてくれた。覚えておくが良い。そなた達も、この灯火のように人のために役立つそんな人生を送るのだ。人生のほんの一瞬にしか過ぎぬ、少年自然の家での一夜ではあるが、ここで生まれた友情の灯火を心に刻み、この集いを終えることにしよう。」

自分自身の台詞に感動するというのも変な感じがしますが、火の長の言葉を借りながら思いを伝えられたような感じがした一瞬でした。

宿泊自然教室に行くと「人は協力していかないと生きていけない」ということを、身をもって体験することができます。私達の祖先は、他のヒト属が減びてしまう中、唯一遺伝子を繋ぎ続けてきたのだそうです。その最大の理由は、進化の過程で「協力しよう」「分かち合いたい」「助けよう」という心情と能力を身に付けたからなのだそうです。

私たちが、今ここに生きていることは、奇跡的で素晴らしいことだと改めて感じるとともに、西部小の宝「つなぐ心」を実感できた2日間でした。



キャンドルの集いでジェンカを踊る子供達 (*^o^*)

「学力向上」への取組！

千代田中学校区の4校で学力向上の研修会を毎年3回実施しています。今年度は持ち回りで、本校が当番校としてコーディネート。その第1回目を7月4日(木)に実施しました。今年は、新たな取組として、授業を提供いただき「良い授業とは」「学力向上に欠かせない授業のポイント」というテーマに迫りました。

授業は5年生の算数。

- ① 主体的に学ぶ展開の実現のための工夫
 - ② 図・式・言葉を駆使した適応問題への対応
 - ③ 次の時間の意欲へと繋がる工夫
- 等を提案していただきました。参加者からは、児童が一生懸命考え楽しそうに学んでいた。発表(表現)も活発で素晴らしかった等、沢山の高評価をいただきました。

◎やる気の開発を意識した授業展開

◎クリエイティブティティーの保障された学習は、社会人として生き抜いていくための主体的学習へと繋がるものだと確信しています。



こんな、素敵な授業を受けられる西部小の子供達は幸せ者です。

◎ホッと一息

以前、横断歩道を渡った児童が、渡りきってわざわざ後ろを振り返りお辞儀をしてお礼を言った…という話を掲載しましたね。なぜ子供達がそこまでできたのか。ずうっと頭の片隅に残っていましたが、謎が解ける場面に出会いました。ある朝、登校の様子を見に行ったときのことでした。見守り隊の方が、「ほら、渡ったら、お礼は言わんばよ。わざわざ止まってくいとんしゃっやんね。」と子供達に声をかけられているではありませんか。そして自分もドライバーの方にペコリと頭を。「なあるほど、こういう事だったんだあ」。その日一日爽快な気分で過ごせたことは言うまでもありません。地域の中でこうして倫理観を植え付けていただき感謝！また感謝です！でも、その方曰く、お辞儀をする子が少なくなつて…。是非、ご家庭でもご指導を。(*^o^*)

